

社会医療法人 愛宣会 ひたち医療センター



贈呈理由 > 病院建て替えにともなうエコキュート導入により、省エネを実現



ひたち医療センター

社会医療法人愛宣会ひたち医療センターは、2013年9月に茨城県内で初となる「社会医療法人」の認定を受けるとともに「秦病院」から「ひたち医療センター」へ病院名称を変更し、公益性の高い医療の提供を行っている。また、1963年の開院以来、茨城県県北の地域医療の充実に努めており、特に救急医療においては、年間1,800台を超える救急車の受入れを行うなど、第二次救急医療機関として中心的な役割を担っている。

省エネ・環境性への配慮から 業務用エコキュートを採用

老朽化していた病院は東日本大震災で大きな被害を受けたことから、施設の全面改築を計画し、2015年5月に災害時医療にも対応できる新病棟建て替え工事が完了して、質の高い医療を提供する環境を整備した。

新病棟建て替えにあたり、給湯システムには、従来のA重油を燃料とした燃烧式給湯システムを見直し、CO₂排出量削減とランニングコスト、メンテナ

ンスコスト低減に優れた、環境にやさしい業務用エコキュートを採用した。結果、環境負荷の低減とランニングコストの削減に大きく寄与している。さらには、従来の給湯設備より操作性やメンテナンスの面でも省力化・効率化が図られている。

地域医療の中核として 地域社会に貢献

今後も省エネによる環境負荷低減に取り組むとともに、地域から信頼される病院として「病める人に対し、個々の病状にあわせた適切な医療を提供。医療の提供に当たっては人権を尊重し、安全性と質の向上に努める」と言う理念の下超高齢社会における急性期から回復期、慢性期までの医療提供体



業務用エコキュート

制を充実させ、人々が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域社会に貢献していく。

一次エネルギー消費量削減効果

【採用システム】

業務用エコキュート [株式会社日本イトミック: CHP-802100CK]
COP(夏季:3.5 冬季:3.1 中間期:3.3)

【従来システム】

ボイラ [株式会社日本サーモナー: TW-200]
相当蒸発量: 200kg/h

削減率
-33%

【諸元】同一負荷条件による年間シミュレーション比較

※1 電気(全日) 9.76MJ/kWh

※2 A重油 39.1MJ/ℓ

※1「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
(平成28年3月1日改正)

※2「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
(平成28年3月1日改正)

ひたち医療センター

所在地: 茨城県日立市鮎川町二丁目8-16

建築設計: (株)三橋設計

建築施工: りんかい日産・日興特定建設工事
共同企業体

蓄熱設備設計: (株)三橋設計

蓄熱設備施工: (株)関電工

延床面積: 11,374.53㎡

竣工: 2015年5月(更新)

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 67kW×2台

[日本イトミック]

貯湯槽: 10㎡